

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

- 1 確かな学力の涵養 2 一人一人に寄り沿った進路指導の充実
3 豊かな心及び道徳的实践力の育成 4 開かれた学校づくり 5 学校における働き方改革の推進

豊かな人間性

- ・探究的な学習活動を通して、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
- ・人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

健康・体力

- ・体育的行事を通して、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上を図る。
- ・教育活動全般を通して、望ましい基本的生活習慣を育成する。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・文章や情報を読み解き対話することができる。
- ・科学的に思考・吟味し活用することができる。
- ・価値を見つけ生み出す発見力、探究力、実行力を身に付けることができる。

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・自分の考えを基に他の考えを理解し、比較検討を通して、改めて考えをまとめていくことのよさがわかる。
- ・他の意見と自分の考えをすりあわせながら、協働的に課題解決に向かう姿勢が身についている。

生徒の実態

- ・やさしさ、素直さをもった生徒が多い。
- ・落ち着いた態度で学校生活を送っている。
- ・学習習慣を身に付けようとする姿勢があるが、定着していない生徒も多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・情報の共有による個への対応
- ・保護者、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携

目指す生徒の姿

- ・知識技能を身に付け、活用することができる。
- ・自己や他者を認め、協働して課題を解決していくことができる。
- ・主体的に学び続け、自ら能力を高めることができる。

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・見通しや自分の考えをもって学習に臨む。
- ・自分の考えをアウトプットし広げ深める。
- ・物事をとらえる見方や考え方を活かす。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・「自ら学ぶ」時間を確保し、自分の考えを構築する。
- ・聴く→考える→発信する過程で比較検討する。
- ・生徒の興味関心を高める授業展開（ICT活用）

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

○校内研修体制の充実

- ・卒業時に願う生徒の姿の共有と高大接続を意識した授業づくり
- ・本校で育てたい教科横断的資質・能力の検討
- ・授業公開等による交流活動の充実

○家庭、地域、関係諸機関等との連携を図る

- ・PTA や学校評議員、地域の外郭団体との連携
- ・「総合的な探究の時間」等を通じた地域学習の充実
- ・地元青年会議所や市職員の方々と連携した取組の充実

安心・安全を守る

- ・交通安全教育の推進
- ・いじめ、不登校生徒への丁寧な対応
- ・信頼関係に基づいた生徒指導

開かれた学校作り

- ・学校公開、授業参観等の実施
- ・4校園合同公園清掃による他校種間の連携・交流
- ・学校HP・学校便り等での積極的な情報発信